

地域社会と協力して リサイクルを進めています。

NEW!
KASUMI
最新施策

食品の有効活用とリサイクル

- フードバンク活動
- 食品残さのリサイクル

カスミは食品資源を地域社会で有効活用する取り組みを推進しています。その一つ「フードバンク活動」は、販売管理のために売場から撤去した賞味期限・消費期限前の食品を、出店地域のフードバンクを通じて福祉施設や生活困窮者へ贈る活動で、2018年4月末現在49店舗で実施、地域の皆さまから喜ばれています。また、店舗から出る野菜くずなどの食品残さを燃えるごみと分別、たい肥や飼料などとしてリサイクルする活動を、2018年2月末現在、104店舗で実施しています。



食品資源のリサイクル例

百姓倶楽部(茨城県下妻市)と共に行うリサイクル例

たい肥化して使用
百姓倶楽部のメンバーや近隣の農家の人たちが、たい肥を使ってお米や野菜を生産します。



農産物としてお店に戻る

カスミの店舗で、たい肥を利用した特別栽培米を販売。また、フードスクエア下妻店では、百姓倶楽部の野菜コーナーも展開しています。



生ごみ排出

カスミの店舗で分別された食品残さの一部は百姓倶楽部のたい肥センターへ運ばれます。



HOT VOICE

全店実施を目標にさらなる活動の拡大・発展を目指します

フードバンク活動・食品残さのリサイクルの取り組みとも従業員が積極的にに関わり、社内外から「いい取り組みだね」とのお声をいただいています。今後も、フードバンク活動は地域の皆さまと連携して全店実施を目標に活動エリアの拡大を目指します。また、食品リサイクルは、将来的には生ごみから作ったたい肥や飼料を使って生産した商品を販売するなど、取り組みをリサイクルループとして全店に発展させていきたいですね。

環境社会貢献部
環境担当
菊地 弘幸



リサイクルステーション

地域のリサイクルステーションとして、全店に資源回収ボックスを設置。牛乳パック、アルミ缶・スチール缶、食品トレイ、透明容器、ペットボトル、ペットボトルキャップの回収を行っています。また、2018年4月末現在、56店舗で古紙回収を実施、重量に応じて貯まったポイントは、お買い物値引券に交換、あるいは社会貢献活動に寄付することができます。今後もお客さまと協力して、さらなるリサイクル回収の環を広げていきます。



カスミリサイクルセンター

店舗で回収された牛乳パック、アルミ缶・スチール缶、ペットボトル、段ボールなどの選別・圧縮・保管などを行っています。2016年4月からは新設された佐倉流通センター内で新しいリサイクルセンターが稼働。リサイクルセンターで一次処理を終えたリサイクル資源は、資源別に専門のリサイクル工場へ運ばれ、さまざまな製品に生まれ変わります。



世界の子どもたちへワクチンを届ける活動に協力

店頭リサイクル活動の一環として、全店舗でペットボトルキャップを回収しています。その売却金は認定NPO法人「世界の子どもにワクチンを 日本委員会」を通して、途上国の子どもたちにワクチンを届ける活動に役立てられています。2017年度は、2016年9月～2017年8月に回収したペットボトルキャップの売却金1,758,280円を寄付しました。



©世界の子どもにワクチンを 日本委員会

お買い物袋持参運動

カスミのレジ袋削減の取り組みは、1974年に始まった「お買い物袋持参運動」にさかのぼります。行政や市民団体と連携して取り組みを進めた結果、2018年4月末現在、レジ袋の無料配布中止店舗は、全186店舗のうち茨城県・栃木県の全店を含む114店舗まで拡大。無料配布中止店舗で販売されたレジ袋の販売収益金は、出店地域の環境保全のほか、食育・社会貢献活動、国連WFP協会が支援する「学校給食プログラム」などにも役立てられています。

●レジ袋無料配布中止による販売収益金の寄付 (2017年度)

寄付先	金額
茨城県・森林湖沼環境基金	7,182,369円
埼玉県・彩の国みどりの基金	191,868円
千葉県・ちば環境再生基金	16,452円
栃木県・とちぎの元気な森づくり基金	609,311円
国連WFP協会	2,527,000円
5 A DAY協会	5,000,000円
茨城県・緑の募金	4,953,000円
合計	20,480,000円

WWFとの協働

■ネイチャーキッズ特派員

WWF(世界自然保護基金)ジャパンとの協働で、2002年から環境活動、環境教育の一環として自然体験エコツアーを実施しています。

16回目となる2017年も、小学校4～6年生を対象に「大切にしたい!自然と生き物」をテーマにした作文を募集、選考された8人を宮城県南三陸町に派遣しました。

東日本大震災で被災した南三陸町では、自然環境の保全と持続可能な社会づくりを通じた復興を目指し、さまざまな活動が行われています。今回は「自然の恵みと人の暮らしのつながり」をテーマに、南三陸の豊かな海と水産業、人々の暮らしについて、シュノーケリング観察や漁業体験、地域の方々との交流を通して学びました。

2017年までに延べ3,306人が応募、152人をツアーに派遣しています。



■WWF募金活動への協力

WWFの自然保護を目的とした募金活動に協力するため、カスミグループの全店舗と各事業所に募金箱を設置しています。従業員はもとより、お客さま、お取引先さまにもご協力をいただき、2016年11月から2017年10月までの1年間に総額5,879,963円の募金をお預かりしました。ご協力ありがとうございました。



いばらきレアメタルリサイクルプロジェクトに協力

「いばらきレアメタルリサイクルプロジェクト」は、レアメタルが多く含まれる携帯電話など小型家電の効率的なリサイクルシステムの構築を目指す茨城県のプロジェクト。カスミは、2018年4月末現在、茨城県内の27店舗に回収ボックスを設置し、レアメタルの回収に協力しています。